

# 一般質問 (6月議会)

# 福祉や環境、道路問題などで論議

6月11日から17日までの7日間を会期として開かれた6月定例議会では、3議員から8項目の一般質問が行われ、町執行部からは次のような答弁がありました。

## 行政改革

**問** ①来るべき地方分権の時代に備えるための、行政改革大綱全面見直しの予定は。②職員の人材育成計画は。

**答** ①当町では、昭和60年に民間有識者から成る行政改革懇談会を設置し、その意見を聴きながら、横芝町行政改革大綱を策定してこれに取り組んできたところである。その後、国内経済が一層の厳しさを増してきた平成4、5年ころから、国や地方を問わず更なる行政改革の推進が叫ばれてきたことから、平成8年3月に行政改革推進委員会を設置し、行革実施計画案や組織・機構の見直し案等の協議を行うなどして、本年4月に役場の機構改革を実施した。今後は、少子・高齢化等の一層の進展、さらには、住民の価値観の多様化など、社会経済情勢の変化に柔軟かつ弾力的に対応できるように体質を強化し、住民福祉の向上と個性的で活力ある地域社会を築くため、平成10年度

末を中途に行政改革大綱の見直しを実施したいと考えている。

②昨年11月に、自治省から地方自治新時代における人材育成基本方針策定指針が提示された。これらを参考に、職員の有する可能性や能力を最大限に引き出せるような人材育成を推進したい。

## 福祉問題

**問** 身体障害者用町営住宅の建設をどのように考えているのか。

**答** 当町では、昭和28年度から46年にかけて、計88戸の町営住宅を建設したが、社会情勢等の変化により、現在51戸となっている。障害者専用の住宅はまだ無いが、昨年12月に議決された横芝町営住宅の設置及び管理に関する条例では、旧条例から一歩踏み込み、身体に障害を持つ人の入居について優先的に入居できるように定めている。身体障害者用の住宅をすぐに建設するかどうかについては、まだいろいろと検討課題があるが、今後は、申請の際に障害者用の住宅が必要な

方がいれば既存住宅の改造等を行うなど、より良い住環境の提供に努めたい。

## 道路、交通問題

**問** 千葉東金2期道路開通に伴い、周辺道路の交通量が急増したようだが、それらに対する安全対策は。

**答** 千葉東金道路2期の開通による大総新道の車両増加対策として、今年の2月、桜前地先の旧県道交差点及び、坂田地先の横芝下総線との交差点、さら

に姥山地先と長倉地先にある横断歩道への合計4箇所について、公安委員会に信号機の設置を要望した。また、東金道路2期の出口から左折し、桜前集落に入る旧道の交差点が非常に危険になるとのことから、今年の2月にこの交差点の場所を成田方面に約15メートルほどずらしても良かった。しかし、これだけでは必ずしも安全とは言えないので、

今後山武土木事務所等と十分協議しながら更なる安全対策を考えて行きたい。

## 工事、契約

**問** ①公共事業に係る当町の入札制度の状況について伺いたい。②公共事業を行なった場合、よく施工業者から樹木などの寄付があるが、このような行為をどう思うか。

**答** ①各工事の発注については、町の財務規則、建設工事等の契約事務取扱実施規程に基づいて、指名競争入札の方法で執行しており、選考に関しては、町内業者育成の見地から、特に大きな工事を除いて、町内業者を中心に指名している。今後も、国の指導を受けながらコスト縮

減に努力し、不正な工事が無いよう十分配慮しながら効率的に執行して行きたいと考えている。

②町では年間を通じ、社会的、教育的ないろいろな寄付をいただいております。大変ありがたく感じている。しかしながらせっかくの好意であっても、業者からの寄付だと誤解を招く場合もあるため、今後は十分に配慮して行きたい。

## 介護保険

**問** ①当町での介護保険制度の準備状況は。②保険料が払えない人についてはどのように対応するのか。

**答** ①介護保険制度については、平成12年の4月1日からの施行が決まっているが、介護サービスに関する人材不足や施設等の基盤整備、さらには保険料の徴収など多くの課題を抱えているのが実情である。しかしながら、この制度は、老後最大の不安要因である介護の問題を、社会全体で支えて行こうとするもので、町としても法律の趣旨に基づき、保健医療や福祉の充実に努めたいと考えている。当町では、この4月に保健福祉課の中に介護



今年の3月末に開通した千葉県東金道路の松尾横芝インターチェンジ